



2010 年度環境活動レポート

対象期間：2010 年 6 月～2011 年 5 月



マトヤ技研工業株式会社
2011 年 6 月 30 日発行



目 次

1	環境方針	2
2	組織の概要	3
3	認証・登録の対象組織・活動	4
4	2010 年度環境目標とその実績・評価	5
5	2010 年度環境活動の取り組み計画と評価	6
6	2011 年度の取り組み	7
7	環境関連法規等の順守状況	8
8	代表者による全体の評価と見直し	9
9	環境活動の紹介	10



1 環境方針

マトヤ技研工業株式会社

環境方針

私たちは、ますます深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、クーラント製品・遠心分離機・オイル浄化の製造・販売等の事業活動における環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって積極的に、環境保全活動に取り組みます。

＜環境保全への行動指針＞

1. 具体的に次のことに取り組みます。

- ① 電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ② 使用原材料の省資源、廃棄物の3R（減量、再使用、再生利用）の推進
- ③ 水資源の節水
- ④ 化学物質の適正な管理及び清掃
- ⑤ 環境に配慮した製品の開発・販売促進
- ⑥ 地域清掃活動
- ⑦ 購入資材・事務用品のグリーン購入

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規等を遵守します。

3. 環境方針は全従業員に周知するとともに、社外に公表します。



制定日：2008年6月 1日

改定日：2011年6月 1日

代表取締役 **益留 福一**

2 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

マトヤ技研工業株式会社

代表取締役 益留 福一

(2) 所在地

本社

〒899-8608

鹿児島県曾於市末吉町南之郷 3050-6

大阪営業所

〒561-0853

大阪府豊中市服部南町 1-4-10

東京営業所

〒121-0011

東京都足立区中央本町 4-15-13

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 豊増 敏夫 (常務取締役)

環境事務局 益留 房代

連絡先 TEL 0986-76-0018

FAX 0986-76-2729

E-mail info@matoya.com

(4) 事業内容

自動省力機器設計・製作および販売

(5) 事業の規模(2010年度：2010年7月～2011年6月)

売上高 607 百万円

	本社	大阪営業所	東京営業所
従業員	34 名	1 名	1 名



もも枝ちゃん

現在適用外

但し、2 年以内に適用させる。



ミスターテンドー



牛大腸切開機



3 認証・登録の対象組織・活動

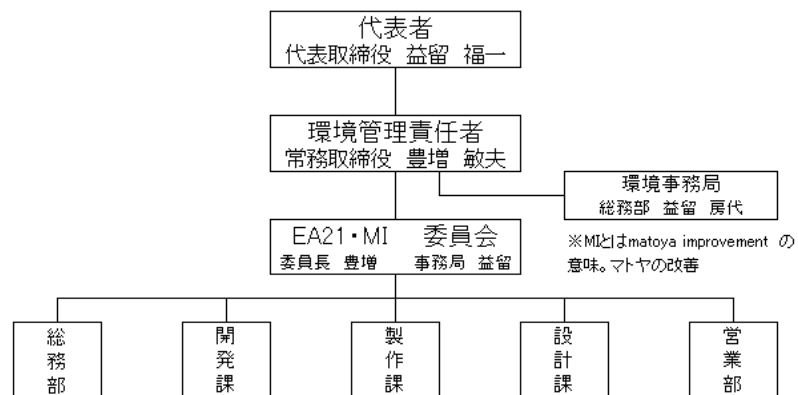
適用組織名：マトヤ技研工業株式会社 本社

適用範囲外：大阪営業所・東京営業所

(2年以内に適用範囲に組み込む予定)

活動：自動省力機器設計・製作および販売

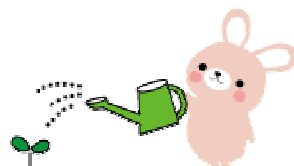
環境経営システム実施体制 →



担 当	役 割・責 任・権 限	担 当	役 割・責 任・権 限
代表者 (代表取締役)	- 環境経営に関する統括責任 - 環境管理責任者を任命 - 環境方針の策定・及び全従業員への周知 - 環境目標・活動計画書の確認及び承認 - 代表者による全体の評価と見直しを実施 - 環境経営マニュアル・環境活動レポートの承認	環境事務局	- 環境管理責任者の補佐 - 環境への負荷の自己チェックシート及び取組み自己チェックリストの実施 「環境関連法規等取りまとめ表」の作成 「環境関連法規等取りまとめ表」に基づく遵守評価の実施 - 環境目標・環境活動計画書原案の作成 - 特定された緊急事態への対応の為の手順書作成、テスト・訓練・記録 - 環境活動の実績集計 - 環境経営マニュアル・環境活動レポートの作成、公開
管理責任者 (常務取締役)	- 環境経営システムの構築、実施、管理 - 環境関連法規等とりまとめ表の承認 - 環境目標・活動計画書を確認 - 環境経営マニュアル・環境活動レポートの確認 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口	EA21・MI 委員会 (各部門責任者)	- エコアクションに関する事項の審議・検討 - 従業員に対する教育訓練の実施 - 環境経営システムの実施・環境方針の周知 - 関連する環境活動計画の実施及び達成状況の環境事務局報告 - 特定された項目の手順書作成及び運用管理 - 問題点の発見、是正、予防処置の環境事務局報告
		全従業員	- 環境方針の理解と環境への取組みの重要性を自覚 - 決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 - 環境改善への意見提案や環境問題・異常時の上司への報告

4 2010 年度 環境目標及びその実績・評価

1	二酸化炭素排出量の削減	目標	実績
①	電力の削減： 基準年比	△1%	△36%
②	燃料の削減： 基準年比	△1%	△52%
2	一般廃棄物の削減：基準年比	△1%	△53%
3	産業廃棄物の削減：基準年比	△1%	△63%
4	水使用量の削減：基準年比	△1%	△50%
5	化学物質の低減：化学物質の適正な管理及び保管場所の徹底清掃		
6	①環境配慮製品の開発及び販売促進：クーラント製品 (加工機の冷却洗浄の目的に油性及び水溶性の液をかける。 この液の浄化装置の事) 及び遠心分離機等の販売促進 2010 年度販売実績 9 台 販売実績 18 台		
	②クーラントユニットの開発		
7	地域清掃活動 2010 年度目標 13 回 実績 23 回		



項目		年度	基準年度	2010 年度		
			実績	目標	実績	評価
売上高	売上高 百万円	282	-	615	-	-
電力 CO ₂ 排出量	購入電力 kwh	79,267	-	111,237	-	-
	kg-CO ₂ /百万円	155.9	154.4	100.4	-	-
	基準年度比	-	△1%	△36%	○	○
燃料 CO ₂ 排出量	購入ガソリン L	11,901	-	12,687	-	-
	購入軽油 L	2,229	-	1,950	-	-
	kg-CO ₂ /百万円	118.7	117.5	56.2	-	-
	基準年度比	-	△1%	△52%	○	○
一般廃棄物排出量	kg/百万円	15.29	15.14	7.17	-	-
	基準年度比	-	△1%	△53%	○	○
産業廃棄物排出量	kg/百万円	4.23	4.19	1.55	-	-
	基準年度比	-	△1%	△63%	○	○
水資源排出量	m ³ /百万円	1.51	1.49	0.74	-	-
	基準年度比	-	△1%	△50%	○	○
化学物質の適正な 管理と清掃	回	12	12	11	△	△
環境配慮製品 販売量	台	9	9	18	○	○
地域清掃活動	回	13	13	23	○	○

5 2010 年度 環境活動の取り組み計画と評価

◎よくできた ○できた △あまりできなかった ×できなかった

取り組み計画	達成状況	評 価	取り組み計画	達成状況	評 価
電力による二酸化炭素排出量の削減			節水		
・冷房温度 28℃ 設定	◎	温度設定は良くできました。消灯についてはもう少しといった感じですが、意識は感じられます。OA は良くできました。毎月清掃にはあと一歩。緑のカーテンにも挑戦しました。	・雨水の有効利用（洗車等）	◎	雨水タンクに溜まった水は、洗車に使い切っていました。増設は、取り付け作業の時間があります。来期は取り付けてほしいです。蛇口は完全交換になっていません。
・暖房温度の 18℃ 設定	◎		・雨水タンクの増設	×	
・不要・休憩時間照明の消灯	○		・節水蛇口の交換	△	
・OA 機器のこまめ OFF	◎				
・エアコンフィルターの月 1 清掃	○				
・緑のカーテン	○				
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減			化学物質の低減		
・急加速発進の抑制	○	中にまだ、急加速、エアコンの意識の無い人が見受けられる。来期にエコカーの購入の予約済みである。古い軽トラックは廃車に、ワゴンタイプの車は、新車に買い替えた	・化学物質の適正な管理及び清掃	○	管理はされていますが、毎月 1 回の予定が使用されない時に掃除が止まってしまった。
・冷暖房の控えめ使用（25℃）	○		・塗装場清掃毎月 1 回	△	
・買換え時はエコカーを購入する	○		・在庫管理を行い在庫を減らす	◎	
一般廃棄物の削減			製品への環境配慮		
・裏紙使用	◎	紙が追い付かないほど裏紙は徹底されました。ミスプリント、再利用も良く取り組み出来ました。	・クーラント製品・遠心分離機等環境配慮製品の販売促進	◎	販売台数は大幅に達成クリアできました。洗浄機を開発し、お客様にも好評でした。
・両面印刷コピーの徹底	◎		・環境配慮型クーラント製品開発予定	○	
・ミスプリントを減らす	◎				
・雑誌、カタログダンボールの再生利用への徹底	◎				
産業廃棄物（廃プラ）の削減			社会貢献		
・委託処分廃棄物の削減	◎	細かな分別の徹底により削減が上手く出来た。自社のクーラント装置の取り付けはまだ。	・公民館の清掃	◎	毎週水曜日を、掃除の日と定め、草刈り機等を使用し清掃に努めました。
・工事での産廃の分別徹底	◎		・周辺道路の清掃	◎	
・廃油を減らすために自社のクーラント装置を取り付ける	×				

6 2011年度の取り組み

(1) 2011～2013年度 環境目標

項目 \ 年度		2010 年度実績	2011 年度目標	2012 年度目標	2013 年度目標
電力 CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /百万円	100.4	99.4	98.4	97.4
	基準年度比		△ 1%	△ 2%	△ 3%
燃料 CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /百万円	56.2	55.7	55.1	54.5
	基準年度比		△ 1%	△ 2%	△ 3%
一般廃棄物排出量	kg/百万円	7.17	7.09	7.02	6.95
	基準年度比		△ 1%	△ 2%	△ 3%
産業廃棄物排出量	kg/百万円	1.55	1.53	1.52	1.50
	基準年度比		△ 1%	△ 2%	△ 3%
水資源排出量	kg/百万円	0.74	0.74	0.73	0.72
	基準年度比		△ 1%	△ 2%	△ 3%
化学物質の適正な管理と清掃	回	11	12	12	12
環境配慮製品販売量	台	18	20	21	22
地域清掃活動	件	23	24	24	24

(2) 2011年度活動計画

取り組み計画			
電力の二酸化炭素排出量の削減	一般廃棄物の削減	節水	社会貢献
・冷房温度28℃設定	・裏紙使用	・雨水の有効利用（洗車等）	・公民館の清掃
・暖房温度の18℃設定	・両面印刷コピーの徹底	・雨水タンクの増設	・周辺道路の清掃
・不要・休憩時間照明の消灯	・ミスプリントを減らす	・節水蛇口の交換	
・OA機器のこまめOFF	・雑誌、カタログダンボールの再生利用への徹底		
・エアコンフィルターの月1清掃		化学物質の低減	購入資材・事務用品のグリーン購入
・緑のカーテン	・シュレッダー廃紙のリサイクル化	・化学物質の適正な管理及び清掃	・事務用品グリーン購入対象品及び比率調査
・断熱フィルム	産業廃棄物（廃プラ）の削減	・塗装場清掃徹底1回/月（年12回）	・購入資材の環境配慮
自動車燃料の二酸化炭素排出量の削減	・委託処分廃棄物の削減	・在庫管理を行い在庫を減らす	・省エネ性能の高い電気製品の購入
・急加速発進の抑制	・工事での産廃の分別徹底	製品への環境配慮	・エコカーの購入
・冷暖房の控えめ使用（25℃）	・廃油を減らすために自社のクーラント装置取付	・クーラント製品・遠心分離機等環境	・クールビズ・ウォームビズ制服の購入
・買換え時はエコカーを購入する		・環境配慮型クーラント製品開発予定	

7 環境関連法規制等の違反、訴訟の有無



環境関連法規制等の遵守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	規 制 内 容	適用される施設物品等	適用される法規制	規 制 内 容	適用される施設物品等
廃棄物処理法 (産業廃棄物)	委託先許可業確認 収集運搬・処理業者との契約 (委託契約・産廃管理票発行・5年間保管) 産廃保管基準、保管置場の表示 産業廃棄物管理票交付等状況の行政報告 自社による運搬時の表示・書類携行 多量排出業者、産廃処理計画・実施状況報告書 提出、特別管理産業廃棄物管理責任者の設置	廃プラ、金属くず、 廃油、廃酸・廃アルカリ(化学物質)	消防法	届出(指定数量以上保管の場合) 指定数量1以上:危険物倉庫 危険物取扱資格者の設置 指定数量0.2以上:少量取扱所	第4類:引火性液体 シンナー (指定数量以下で届出必要なし)
			毒物及び劇物取締法	事故時連絡 保管場所の表示 盗難、流出防止	硝酸
			労働安全衛生法	有機溶剤の適正な管理・MSDSの周知	シンナー
浄化槽法	設置届出・浄化槽の維持管理 定期点検・定期清掃・定期水質検査	合併浄化槽	特定化学物質障害予防規則	密閉化・漏洩防止・腐食防止 MSDSの周知・掲示・換気・保護	硝酸・シンナー
自動車リサイクル法	使用済み車は引き取り業者に引き渡す。新車購入時にリサイクル費用を支払う	自動車	有機溶剤中毒予防規制		
家電リサイクル法	家電製品の廃棄時にリサイクル料金支払い	TV、冷蔵庫、洗濯機 家庭用エアコン	フロン回収・破壊法	フロン類の適切な処理、回収・破壊の工程の確認、規制基準の遵守、引取・処理証明書交付保管	業務用空調設備
改正リサイクル法	パソコンの部品資源回収	社内パソコン			
騒音規制法	メーカーへの引取り手続き・リサイクル 特定施設の届出 空気圧縮機7.5kw以上。規制基準の遵守	空気圧縮機7.5kw 2台	条例 鹿児島県地球温暖化対策推進条例	環境マネジメントシステムの導入 廃棄物発生抑制・再利用・再生利用 温室効果ガスの排出量の把握 公共交通機関等の利用 再生可能エネルギーの優先的な利用	電力 自動車燃料

環境関連法規及び条例等への違反、また訴訟等の有無について、2010年6月から1年間のチェックリストを2011年6月に確認した結果は、下記の通りである。

①法律

違反等の有無: 無 ②訴訟等の有無: 無 ③苦情や要望等の有無: 無

8 代表者による全体の評価と見直し

1. 環境活動の取組み結果の評価

受注が最盛期に復活し、あらゆる面で環境負荷が増え、従来の目標設定では難しく成って来ました。

このため、売り上げに比例した目標設定に変えることにしました。

原発問題もあり、エコ意識は上がっていると思います。

エコカーの導入を検討しましたが、車メーカーが大震災の影響で納期が大幅に延び間に合いませんでした。

2. 実績の評価

電力による二酸化炭素排出量の削減は概ね意識が高く成って来ました。

工場のエアコンも省エネタイプに替えました。

単月では我社特有の受注生産機械に伴う、試運転の為に電力使用の極端な増加があります。

このようなことは避けられないから、今後の取組みを考えて下さい。

自動車燃料も2009年度実績に対して48%とクリア出来ました。

一般廃棄物は2009年度実績に対して47%とクリア出来ました。

裏紙は今年も供給が追いつかない状況でした。

段ボール・カタログ・雑誌も再利用に出しました。

産業廃棄物は2009年度実績に対して37%と大幅に下回りました。

3. 今後の取組み

車はハイブリッド等の省エネ型に切り替えて行きます。

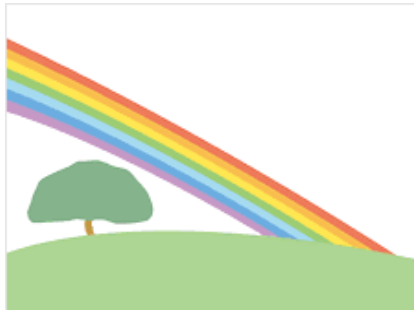
環境配慮型商品の販売を促進し、20台以上を目指します。

一般廃棄物、産業廃棄物は引き続き削減とリサイクルに努めて行きます。

新工場建設に見通しが付けば更に塗装場の改善を進めたいと思っています。

また、環境に配慮した工場を作れるよう勉強して行きます。

事務用品もエコマーク・グリーン商品を使用するようにします。



9 環境活動の紹介

主 な 活 動

1 環境方針の周知



2009年度の実績報告と2010年度の環境活動の計画について社員研修を行いました。



環境掲示板



新入社員に対しての、エコの勉強会も行いました。

2 環境関連法規の遵守



火災受信機と消火器・・・火災を感知したら警報になります。消火器は 10ヶ所に設置しており工場配置図に記入されています。



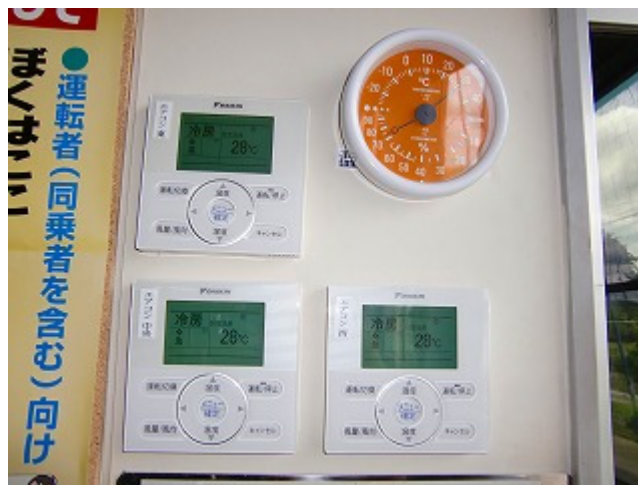
東消防設備さんから、正しい消火器の使い方の研修を受けました。



硝酸が流出した場合の、処置の方法を学びました。消石灰を使います。

3 二酸化炭素排出量の抑制

長年使った工場のエアコンを、最新式のエアコンに取り替えました。節電効果が期待されます。



エアコンスイッチの温度表示
暑い夏は、冷房 28℃
寒い冬も、暖房 18℃



他のエアコンのフィルターも、定期的に掃除をしています。



西日の当る設計室には、断熱フィルムを、貼りました。(4℃位の差があるようです)



緑のカーテンに挑戦！！



エコドライブ 10ヶ条を
車に張り、エコ運転を意識
しています。



給茶器も、十数年使った旧型から、新型へ交換しました。
節電効果が期待できます。



4 資源の効果的活用の推進



両面コピーの徹底とミ
スコピーの裏紙利用
きちんとトレーを分け
て使用しています。



使用済みのペットボトルの
蓋はワクチンになります。社
員の子供たちが、学校や保育
園にお届けしています。



ゴミの分別はもう当たり前の事ですが、工場内ではいろいろな種類のゴミが出ます。
仕分け方法を、解りやすく掲示しました。





社員用のトイレトーパーも、芯なしタイプ再生紙 150mを購入するようにしました。
ネット販売ですので、買いに行くガソリン代もかからず、芯なし、外装紙なしなので、ごみの削減にもなります。
グリーン商品を購入するという2011年度の目標の一つになりそうです。



500Lは、余裕で入るマトヤ
お手製雨水タンク
1日降れば満タンになります。
このタンクの水で洗車も行います。





社内の水道の蛇口も、シャワーノズルにして、節水効果を得ています。
水道のあちらこちらには、節水の表示をしています。



5 化学物質の適正な管理及び清掃

塗装場の清掃



整理整頓されて、定期的に清掃も行われています。

 節水にご協力下さい。

6 製品への環境配慮

環境配慮型クーラント製品の開発・販売



フィルタコンベヤ



クーラントセパレータ

2010 年度は、
この環境配慮型の
製品が 18 台も販売
できました！！



マグネットコンベヤ





7 地域の環境保全事業への参加

駐車場・ 周辺道路の清掃



駐車場や周辺道路、
三枝前自治会公民館の庭、会社の垣根・・・毎週水曜日の朝、社員全員で取り組んでいます。

自然あふれる緑の
環境・・・いつまでも
続きますように！

